

滋賀県
議会議員

きりた
桐田まこと

県政報告
Vol.9



滋賀県議会6月定例会議

一般質問

(抜粋)

Q 未成年者に対する喫煙防止教育と禁煙教育について

たばこには発がん性物質など多くの有害物質が含まれており、中でもニコチン、タール、酸化炭素は三大有害物質として広く認知されている。

くわえて受動喫煙(二次喫煙)や煙の成分が付着、残留、揮発することにより引き起こされる残留受動喫煙(三次喫煙)についても有害物質が含まれているとされ健康への影響は深刻である。

とりわけ、未成年者は短期間でニコチン依存症になりやすいといわれ、非喫煙者は、たばこの煙に感受性が強く、深刻な健康被害を受ける危険が高まる。また、近年の社会問題である若年層の薬物乱用は、その入り口として未成年者の喫煙が大きく影響していることが知られている。

さらには、子供のアレルギー疾患に及ぼす影響が大きいことから、日本小児アレルギー学会からもその危険性が指摘されている。

私は、これらの医学的見地を踏まえ、未成年者や子供に対して、より早い段階で喫煙やたばこの煙による健康被害などの理解に必要な継続した喫煙防止教育と禁煙教育が重要であると考える。

現在、分煙対策やたばこのポイ捨て対策として、子供たちが通学など日常生活の中で利用する駅の広場などの公共的空間に喫煙所が設置され、子供たちが通学の際に、自らの意思に由らず無意識に副流煙にさらされ健康への影響が懸念される。

私は、たばこが未成年者の健康への影響は深刻であり、まだまだ日常生活の身近にあるという共通認識のもと、「たばこを未成年者や子供に近づけない」という強い覚悟を持ち、子供が喫煙者にならないよう小学校から高等学校まで、学校や家庭、地域および企業などが、あらゆる場であらゆる機会を通じて、未成年者に対する喫煙防止教育と禁煙教育の推進が今こそ重要であると認識する。

小学校から高等学校まで学校における喫煙防止教育、禁煙教育を進めていく中で、児童生徒、保護者などが健康への影響に示す懸念に向き合い、子供たちの健康を守っていくのか問う。

A

小6、中2、高1の授業において、依存症、健康への影響について学習しており、将来にわたり健康な生活につながるよう効果的継続的な学習に努め禁煙への意識を育む。

また、子供の日常生活の中に受動喫煙の場面があることは課題であると認識しており、「子供の前で吸わないで」を合言葉に周知啓発を更に進め、子供の健康を守る。

あわせて、望まない受動喫煙のない社会の実現に向け、「エローグリーンリボン運動」に積極的に取り組み、引き続き市町や各団体などと連携し、県民の理解が深まるよう取り組みを進める。

字句説明

※エローグリーンリボン運動

たばこの煙を吸いたくないという気持ちや周囲に伝える手段として長崎県佐世保市の市民のアイデアから生まれた運動。



Q

滋賀県における金融きんゆう(経済教育)について

国民の金融を取り巻く環境は、金融技術(フィンテック)の進化によるキャッシュレス決済の普及、多様な就労形態に応じた企業・個人年金制度、NISAの拡充・恒久化、マインナス金利政策の解除による金利のある社会への転換など、日々変動している。

また、2022年4月から民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、多くの高校3年生の年齢に本人意思による契約行為が可能となり、詐欺的な投資勧誘や悪質商法などの金融トラブルに巻き込まれる懸念はこれまで以上に高まっている。

2024年4月に金融と経済の知識を普及・教育する「金融経済教育推進機構」が金融庁の認可法人として設立され、金融教育活動が一層推進されることが期待されている。

私は、より早い段階で金融の動きや知識を理解し、正しい判断に資する金融リテラシーの着実な習得が、良い社会づくりとより豊かな生活の実現に成果をもたらすものと考えている。

今後、小・中・高それぞれの教育段階で効果的な金融教育の在り方を追求していくうえで重要と考える取り組みについて伺う。

A

児童生徒が金融に関する興味関心やアイデアを取り入れながら自ら学ぶ姿勢を育み、将来、自立した主体として社会参画に必要な資質や能力の育成に努める。また、「金融経済教育推進機構」との連携を深め、「金融経済教育研究校」制度を活用するなど、「金融リテラシー」の向上に向け、普及啓発を強化していく。

字句説明

※金融教育とは、「お金や金融の様々な動きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会の在り方について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やより良い社会づくりに向けて、主体的に判断し行動できる態様を養う教育である」と理解認識されている。

現在は「生きる力」の形成の観点から、学校で正確かつ幅広い知識を教育するべきという認識のもと、学習指導要領の改訂に合わせて2020年度に小学校、2021年度に中学校、2022年度には高等学校とそれぞれの教育段階において取り組まれている。

ピックアップ

大津市に続々と女子硬式野球部が創部しています。

・滋賀短期大学附属高等学校に創部
・びわこ成蹊スポーツ大学に創部

滋賀県や大津市出身者も活躍!!
全国からも選手入部されています。
ぜひ、みんなで応援しましょう!!



桐田副委員長、国スポ障スポ大会盛り上げています!!

国スポ障スポ大会のリハーサル大会会場等を巡っています。



国スポ障スポ大会ラグビー競技と体操競技を観戦



ポッチャ初体験 おもてなしコーナー調査



滋賀短期大学付属高校女子野球部激励会に立会

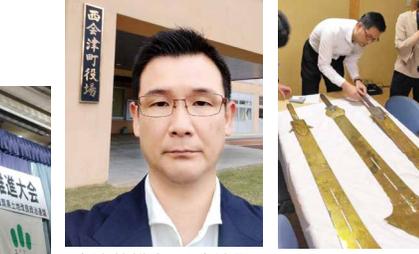


農業農村整備推進大会に出席(大津市)

活動の様子



各地のお祭りに参加。ココにいます長浜曳山祭「子ども歌舞伎」観覧、山王祭、若松神社神輿渡御に力士として参加



甲賀市西部学校給食センター調査



大津百町まつりへ出かける大岡代議士と射的を楽しむ皆様、お近くの商店街へお運びください。



時の神様、近江神宮境内にある近江時計眼鏡宝飾専門学校を訪問しました



県立アイスアリーナを調査(瀬田大江町)



瀬田駅前活動の様子 各地で街頭県政報告を開催



セタシジミ祭に参加(瀬田漁港)



特定非営利活動法人 大津祭曳山連盟通常総会に出席

常任・特別委員会行政調査風景

常任委員会

常任委員会調査にて、県聾話学校と草津養護学校を訪問。



特別委員会

特別委員会調査にて、竜王町と草津市アクアティクスセンターを訪問。



滋賀県議会議員
桐田まこと
教育・子ども若者常任委員会 委員
公共交通・国スポ・障スポ大会
対策特別委員会 副委員長

生年月日：1977年(昭和52年)3月生まれ 妻と娘2人の4人家族

- 大津市立瀬田小学校卒業
- 滋賀県立大津商業高等学校卒業
- 民間企業勤務
- 第95代大津市議会 議長(令和3年度・市議3期約12年)
- 大津市立瀬田北中学校卒業
- 立命館大学経済学部経済学科卒業
- 山下英利参議院議員秘書(元)



連絡先 大津市大江7丁目7番32の3号 TEL/FAX 077-547-4800

ホームページ

桐田まこと

検索